

2021年11月11日
株式会社日立製作所

日立が東武鉄道の新型特急車両「N100系」の製作会社に決定



新型特急車両「N100系」のイメージ図

株式会社日立製作所(以下、日立)は、このたび、東武鉄道株式会社(以下、東武鉄道)向け新型特急車両「N100系」の製作会社に決定しました。新型車両は、日本有数の観光地である日光・鬼怒川エリアへの輸送の中心的役割を担ってきた100系スペースの認知度・イメージを維持・継承した東武鉄道の新たなフラグシップ特急であり、2023年からの運行を予定しています。また、日立が開発したアルミ製標準型車両「A-train」コンセプト*により、山口県下松市の笠戸事業所で製造します。

なお、日立が東武鉄道向けに車両を供給するのは、2013年に納入した通勤型車両60000系以来となります。

日立は鉄道事業者と共に、「A-train」コンセプトと最新の技術を通じて、鉄道利用者に「安全で快適」な鉄道での上質な移動空間を提供していきます。

* 日立の鉄道車両システム「A-train」が第27回地球環境大賞において「国土交通大臣賞」を受賞
<http://www.hitachi.co.jp/information/180228/index.html>

■新型特急「N100系」概要

新型特急車両「N100系」は、「Connect & Updatable～その人、その時と、つながり続けるスペース～」をコンセプトに、鉄道の物理的な移動に留まらず、車両に乗り込んだ瞬間から、人々と日光・鬼怒川エリアをつなぎ、発信する情報や提供するサービスなどを更新することで、幾度も同エリアを訪れたいとする特急車両をめざします。

また車両デザインは、現スペースの形状を現代に進化させ、日光や江戸の要素を取り入れたカラーリングやデザインを採用しています。現スペースの個室を継承した他、ラウンジやカフェカウンターを新たに設置し、上質な空間の提供をめざします。

項目	内容
車両型式名	N100系
愛称	未定
導入両数	24両
編成	6両固定
座席数	212席
導入路線	東武スカイツリーライン・日光線・鬼怒川線 浅草～東武日光、鬼怒川温泉間
導入時期	2023年(予定)

■日立製作所について

日立は、データとテクノロジーで社会インフラを革新する社会イノベーション事業を通じて、人々が幸せで豊かに暮らすことができる持続可能な社会の実現に貢献します。「環境(地球環境の保全)」「レジリエンス(企業の事業継続性や社会インフラの強靭さ)」「安心・安全(一人ひとりの健康で快適な生活)」に注力しています。IT・エネルギー・インダストリー・モビリティ・ライフ・オートモティブシステムの6分野で、OT、IT およびプロダクトを活用する Lumada ソリューションを提供し、お客さまや社会の課題を解決します。2020年度(2021年3月期)の連結売上収益は8兆7,291億円、2021年3月末時点で連結子会社は871社、全世界で約35万人の従業員を擁しています。

詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp/>)をご覧ください

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
